

各位

2026年6月18日

会社名 株式会社明豊エンタープライズ
代表者名 代表取締役会長 矢吹 満
(コード番号：8927 東証スタンダード)
問合せ先 取締役専務執行役員 安田 俊治
(TEL 03-5434-7653)

2026年7月期 第3四半期 決算補足資料（質疑応答集）

この質疑応答集は、2026年6月11日に発表いたしました2026年7月期第3四半期決算について、当社で想定していました質問と株主、投資家などの方々との質疑応答の主なものをまとめております。本開示は市場参加者のご理解を一層深めることを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

Q1 2026年7月期第3四半期は前年同期比で増収・増益となりましたが、その要因を教えてください。

A 主に、不動産開発事業において、主要ブランドシリーズの売却棟数が前年同期の21棟から24棟に増加した点、建設事業において、外部受注の増加を中心とした施工中物件数が前年同期の10物件から12物件に増加したためです。

Q2 売却見込み棟数の進捗率が102%となっていますが、通期業績予想の上方修正は検討しないのでしょうか？

A 足元の販売状況は良好に推移しており、通期業績予想の達成に向けて順調に進捗しております。しかしながら、今後の事業環境においては、建築資材の供給制限、土地価格や建設工事費等の原価高騰による不動産価格の高額化に加え、金利上昇局面への移行など、引き続き注意を要する不透明な状況が見込まれます。修正が必要と判断した場合には、速やかに開示してまいります。

Q3 2026年7月期第3四半期は前年同期比で大幅な増益となっていますが、通期または来期以降も同様の成長は期待できますか？

A 当社は単年度の業績だけでなく、中長期的な成長についても重視しております。現時点では主要ブランドシリーズの販売が順調に進捗したことに加え、建設事業の収益改善も業績拡大に寄与しております。今後も用地取得を着実に進めるとともに、開発案件の事業推進により、中期経営計画の達成に向けてに取り組んでまいります。

Q4 「中東情勢の不安定化」について、会社の事業への影響や認識を教えてください。

A 現時点で、当社の通期業績予想への影響は限定的であると認識しております。しかしながら、中東情勢の不安定化は国内経済の先行きを不透明にする要因であり、仕入先との連携強化、早期手配、代替資材の検討などを行うことにより、工期や採算への影響の抑制に努めてまいります。

Q5 土地価格や建設工事費等の「原価高騰」に対して、どのような市況変動対策を講じていますか。

A 当社グループの強みである「情報分析力」や「事業企画力」を最大限に生かし、まずは仕入れの段階で「立地を厳選すること」を徹底しています。これにより、仕入れコストそのものを低減し、資材高騰などの市況変動リスクに対する耐性を強化しながら物件調達を進めております。

【免責事項】当社が開示する資料に記載されている将来の業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。

Q6 金利上昇による影響をどのように見えていますか？

- A 金利上昇は不動産投資市場全体に影響を与える要因ではありますが、当社は東京23区内でも人気の高い城南・城西エリアを中心に商品供給を行っております。また、物価上昇に伴う賃料上昇も引き続き期待できることから、現時点での事業への影響は少ないと認識しております。今後も市場環境の変化を注視しながら事業を推進してまいります。

Q7 株主還元に対する考え方を教えてください。

- A 当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営上の最重要課題と位置づけております。還元政策は、「累進配当の継続」を基本方針としており、2026年7月期も7期連続の累進配当となる年間13円/株を予想しています。この確実なリターンを株主還元の主軸とするとともに、株主還元の充実を図る一環として、今期より株主優待制度も導入しております。今後も中長期的な企業価値向上に連動した、適切な利益還元に努めてまいります。

以上

お知らせ

株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション機会を設けることを目的とし、IRサイト内に「Quick Answer」コンテンツを設置しています。多くの株主・投資家の皆さまからいただいたご質問や、当社からお届けしたい情報を公開しています。

クイックアンサー

Quick Answer



URL : <https://meiho-est.com/ir/ir-qa/>

【免責事項】当社が開示する資料に記載されている将来の業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。